

平成24年 第5回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成24年5月23日(水曜日) 午後1時30分開会/午後2時43分閉会
招集場所 加賀市市民会館2階 第7会議室
出席委員 石橋雅之、上田政憲、酒谷百合子、小林圭子、旭直樹
会議列席者 掛山事務局長、宮本次長兼学校指導課長、中矢次長兼九谷焼美術館副館長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、谷口スポーツ課長、田嶋文化課長、寺田図書館長、米屋課長補佐

石橋委員長 平成24年第5回教育委員会定例会開会宣言
挨拶

それでは議案第16号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 議案第16号 加賀市社会教育委員の委嘱について
西出課長 資料に基づき説明

石橋委員長 特に補足等ございませんか。これにつきましてご質問、ご意見ございますか。
酒谷委員 お聞きしてもいいですか。例えば校長会の任期が1年とかありますけれども、社会教育委員の任期は2年ですよね。もし途中で任期が切れてもそのままですか。

旭教育長 これは団体に推薦依頼をしているもので、任期が切れたら残留期間ということで新たな推薦をいただきます。だから1年しか決まってないものに2年間の任期にするというのも今後の課題ですね。おっしゃるとおりです。だから校長会は毎年変わりますので、ここは毎年変わるということになってしまいます。ただ、学校の代表はどうしても要ります。校長会は1年任期しかないもので、教頭会にしても同じですし、仕方ないかなとは思いますが。補足ですけども、先日教育民生委員さんと我々教育委員と教育に対する意見交換会がありましたけども、要は子ども達を取り巻く学校教育以外のものですね、これは社会教育で補ってもらえないんですけども、どうも過去の動きを見ていると加賀市の場合、社会教育委員というのが十分に機能していなかったのではないかと。もちろん代表の方はそれぞれの自分のポジションで一生懸命やっておられるんですけども、加賀市全体の教育を通すという部分で、私は少し弱かったのではないかと。社会教育というのは学校教育との両輪ですので、公民館並びにPTA 各種いろんな団体があるんですけども、大所高所から加賀市全体の子ども達の学校教育以外の場所をどう進めていったらいいのか、そういう視点が欠けていたような気がします。新しい委員さんの下で、加賀市の社会教育をどう推進したらいいかというような提案をしてもらいたいと思っております。これは生涯学習課長とも今後の社会教育の在り方については学校教育を活発にしていくためにも意

識し、意図的に働きかけていかないといけないと思っております。公民館とPTAの代表はどうしても社会教育委員の中に入れてもらわないといけない。今まで公民館は入っていないんですよ。PTAも入っているような、入っていないような、個人で思いつきのような方が入っていたような気がします。それではいけないということで各団体に依頼して選んだという経緯です。

石橋委員長 他に何かご質問、ご意見はございますか。この方々の経歴書、いろんなかたちで現状報告もしておられるし、推薦状もございます。特に問題がなければ議決を取りたいと思えますがよろしいでしょうか。議案第16号について賛成の方は挙手を願います。

全委員 全員挙手

石橋委員長 全員賛成ということで本案件は承認されましたので、宜しく願いいたします。ただ、教育長からもお話がありましたように、この辺の連携を含めもう少し社会教育委員そのものに対してどう取り組んでいくのか、突き詰めた話し合いが今後必要になるのかなと思います。はい、西出課長。

西出課長 社会教育委員の今後の活動日程について説明

石橋委員長 それでは本日の審議事項はこれをもちまして終了いたしました。続きまして報告案件に入ります。報告第7号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 報告第7号 訪問計画について
宮本次長 資料に基づき説明

石橋委員長 各委員さん間違いがないか確認だけお願いいたします。特にご質問がなければ報告案件はこれで終了いたしますがよろしいですか。

全委員 異議なし。

石橋委員長 それでは、その他ございましたらご説明をお願いします。

■ その他(1) 古九谷紹介DVD企画審査について(中間報告)
中矢次長 資料に基づき説明

石橋委員長 小林委員、何か補足ございますか。

小林委員 各社いろんな勉強をされていて大変いい審査会を経験させていただきました。それでこの審査結果というものは、全社に得点までわかるような結果を出されるのですか。

中矢次長 今のところまだ考えておりませんが、採用するのは1社ですので、採用ないしは不採用の通知はさせていただきます。

掛山局長 今、市は情報公開を積極的に進めていますから、仮に不採用の会社からなぜ不採用になったか審査結果を公開して下さいという要求があれば、ある程

- 旭教育長 度範囲を特定して公開せざるを得ないと考えております。
点数は公開いたします。これは公表する方が自然な流れだと思っております。ただ、予算付けしてなぜ DVD を作るかという原点ですね。そこを崩してはいけないと思うんです。もちろん選んでいただいたのはいいんですけども、我々は日本陶磁史会の邪馬台国論争というものがしっかりと DVD の中で明確になっているかどうか。それからもう一つは新幹線が 26 年に開通いたしますね。そうすると新しい顧客というか、観光客を呼び起こすためにも関東方面の方々に来てもらうという視点で作られているか。今までと同じようなパターンで DVD を流してもインパクトがないですよ。関東の方に見てもらおうという意識で作られているかどうか。あとはそれぞれの方の点数付けなんですけども、最終的には原点があったかどうかも見させていただいて総合的に判断する。プレゼンだけ上手い人もいますしね。中身を見たら今までと変わらないじゃないか、でも雰囲気ですってしてしまう場合もありますし、我々の原点がずれていないか、今一度精査しているところです。
- 石橋委員長 他の委員さん方ご質問はございませんか。なければ私の方から質問させていただきます。市内の審査員が 9 名、県外 3 名、合計 12 名で審査されていますが、16 日の一番アピールすべきときに市内 8 名、県外の方は誰もいらっしゃらなかったそうですが、それは何か理由があるのでしょうか。
- 中矢次長 県外の審査員はすべて東京の方でして、その道で一方のご意見を持つ方にいただきました。当初より、この県外の審査員は特別審査員という名称で、市内の審査員は 200 点満点のところ、県外の特別審査員は 100 点満点ということで、プレゼンテーションには参加できないけども専門の立場から見地をいただくということで、採点に差をつけてあります。そこでもって配分得点で計算するという当初の審査要領の中においてのものです。
- 石橋委員長 市内の審査員は欠席されたんですね。その 1 名の方は審査に参加できないことになりませんか。
- 中矢次長 その方につきましても、審査表を頂戴いたしました。企画書を見ていただき、十分に補足説明というかたちを取らせていただきまして同様の審査表に点数を採点していただくことにしました。
- 石橋委員長 持ち点配分も同じですか。
- 中矢次長 はい。
- 石橋委員長 5 社が応募されたということですが、所在地はどこですか。
- 中矢次長 これは基本的に石川県内で DVD 製作もしくは放送業務を営む者という規定がございます。過去に石川県内で、例えば石川県庁の公共の業務をして実績のあるところは本社が石川県内になくても、そういう足掛かりがあれば全て OK ということです。5 社全ての本社が石川県内にあるわけではありません。本社機能が県外にある業者が 2 社、あとは石川県に本社があります。
- 石橋委員長 了解いたしました。他に何かございませんか。なければただいまの報告をもって中間報告としたいと思います。素晴らしい DVD になると期待しております。

す。

■ その他(2) 加賀市 PTA 連合会役員交流会への参加について
西出課長 資料に基づき説明

- 旭教育長 これ 7 月 27 日は何曜日でしたか。
- 西出課長 金曜日です。
- 旭教育長 PTA の方とはこちらから話したいくらいですからいい機会だと思うんですけども、これはどういう方々が出てきてどのようにするのか。我々 5 人でしょ。その辺の在り方が見えないので。
- 西出課長 各学校の PTA の方が大体 50~60 名お集まりになると聞いております。10 人ぐらいのグループの中に教育委員さんが 1 人入って協議を行うと聞いております。
- 旭教育長 そうすると 1 から 5 のテーマを全部それぞれで話すのか。
- 西出課長 別々です。ですので、得意分野というか、教育委員さんで選んでいただければと思います。
- 旭教育長 1 回完結ではないから、やってみて修正できます。保護者は絶えず子どもの教育の責任を持ってもらわないといけないので、やっぱり共に教育委員会はこう進めたいと協力できる体制を作っていくためにもきっかけとしてはいいのではないかと私は思います。
- 上田委員 全部で何名くらい参加される予定ですか。一つのテーブルに 50~60 人ではないのですか。
- 西出課長 全部で 50~60 人です。
- 旭教育長 一つのテーブルに 10 名ほどです。
- 石橋委員長 単純に一学校あたり 2 人から多くて 3 人くらいしかいらっしやらない。ということは PTA の会長さん、副会長さんくらいに絞り込まれるという話になりますね。教育委員会からこんなテーマを入れてほしいという要望はできますか。特にこっちよりこのテーマがいいというご意見ございましたら、中々次に集まる機会がございませんので今お聞きしますが。非常に微妙なテーマになりますので、私個人的意見としては少しずつしていくべきかと思っております。誰がどのように入ってどうするのか。
- 旭教育長 2 番は私が入ります。現状と課題ということで、あくまでも子ども達の視点に立って、子ども達の望ましい学級、学習集団とは何かというところをやる親御さんも不安ですよ。一学級 2~3 人というところは誰が考えたって不安になりますよ。だけど現在学校を挙げて子どもを大切に育てておられますので、結果として学力も高いし満足なんですけど、ただ現実には不安であるのは間違いないので、やっぱり現場の声、教師の声、保護者の声を聞きながら我々もどう支援し、納得してもらったらいいいのか、現状を考えながら粘り強い話し合いをしていくしかないんじゃないかなと思います。ただ、こういう

- テーマは即決即断は難しいです。
- 石橋委員長 例え親の子離れについて、非常に抽象的で具体的にどんな話になるのかイメージしづらいとっていたのですが、先般、教育民生委員の方々と話したときに御茶ノ水女子大学の先生の報告書を見ておりましたが、子どもの自立、子離れ、学力も含めてさっきの社会教育委員会の話なりますけど、親の生活態度、生活環境がかなり子どもにいろんな影響を与えているということを改めてPTAの方に認識いただきたいと思うんです。そういった内容まで踏み込めるようなテーマの書き方になりませんか、西出課長。
- 西出課長 これを持って来られた役員の方も(4)のテーマが抽象的なのでどんな話になるかという話があったので、わかりやすい副題とか括弧書きを考えております。
- 石橋委員長 でないと広がって收拾がつかなくなって、1時間半という短い時間の中ではあまり突き詰められないで終わってしまいそうな気がします。テーマの描き方も含めてちょっと工夫してみてください。
- 旭教育長 非常に熱心な保護者の方々の集まりだと私は思います。ここに出てこないのが問題なんです。ここで論議するのはおそらく親御さんも熱心で、それぞれ考えておられるのでいいんですが、これも教育民生委員の方々とのお話合いの最初のテーマでもありました。教育の二極化ですね。学力・体力だけではなくて保護者の二極化なんですね。ここをどう巻き込んで一緒に考えていける土俵に持っていけるか。これはまさに社会教育になってくるんです。だから自分達だけが一生懸命になるのではなくて、参加しない保護者の方々をどう巻き込んでいくか。これは地域づくり、まちづくりに関係してきますし、その辺が加賀市だけの問題ではないんです。全国的にこれは大きな問題だと思いますが、やっぱりそういう家庭は孤立化する可能性がありますから、声かけ運動とか、地域ごとにお祭りや行事に参加しましょうといった、地域の子は地域で育てる雰囲気を作っていくかといけないということに保護者会を通して気付いてもらいたい。だからここへ出てきて我々と話をするのは熱心なご家庭という前提で見てもかまわないと思います。
- 石橋委員長 それでは27日の日程は皆さん大丈夫でしょうか。そこを確認しないままにいつてしまいました。
- 酒谷委員 ちょっといいですか。協議終了後、グループごとに内容発表とありますけども、この時間配分はどのようにお考えですか。
- 西出課長 PTAの考えでは7時半から1時間、グループで協議を行った後に進行役の方、PTAの方になると思うのですが、30分それぞれグループ発表と質疑応答、意見交換をすることになっております。
- 石橋委員長 正味話し合う時間は1時間ですね。
- 西出課長 そうです。
- 石橋委員長 1人6分喋ったら終わりですね。
- 旭教育長 だから今ざっと計算して欲張らないで、これからも続けていくという出発意

識みたいなものだからそれでいいと思いますよ。一人 3~4 分の発言でグループ終わると思うんです。それをまとめて発表するというのはおそらくワークショップ方式でそれはそれでいいのですが、そしたらもうちょっとテーマを喫緊の課題に優先順位をつけて並べ直すとか、時間配分を計算して第 1 回目はこれにするとか、第 2 回目はこれでいくとか、その辺をまた PTA の係りの方と話してもらえませんか。これで一度にやってしまうと次のネタがないという可能性もありますから。

石橋委員長 西出課長、今年度はこれ 1 回しか考えておられないのですね。

西出課長 今のところそうです。話の中では継続性をやっぱり持たせるべきだというお話はしております。

石橋委員長 ただ、翌年になるとがらっとメンバーが変わってしまうんですね。それがいい面でもあるし悪い面も当然出てくるわけですが、ずっと伝達していけるのか不安もあります。一つはこういった分科会によくあるパターンで、5 つの違うテーマで 5 つの分科会というやり方もありますが、一つのテーマに対して 2 つ分科会を作って、それぞれの違う意見を聞くというやり方もある。これがいかにというわけではないですが、教育長がおっしゃったように全部出してしまうと次のテーマがなくなってしまう。去年の意見は次の年の人はわからないので、ちょっとその辺の工夫があってもいいのかなと今思いつきました。

西出課長 PTA さんもまずは日程を確認願いたいということで、テーマにつきましては今後協議を詰めるということで今のご意見を含め検討していきます。

石橋委員長 それでは加賀市 PTA 連合会役員協議会につきましては以上でよろしいですか。皆さん日程を入れておいてください。宜しく申し上げます。続きまして次の報告事項申し上げます。

■ その他(3) 学校適正規模・適正配置に関する先進地視察について
掛山局長 説明

石橋委員長 また具体案が出ましたらご連絡をいただいて日程調整をお願いいたします。皆さん何かご意見はございませんか。

全委員 意見なし。

石橋委員長 それでは次の報告事項お願いいたします。

■ その他(4) 第 66 回全国都市教育長協議会総会（出雲市）について（報告）

■ その他(5) 石川県北欧教育事情視察団への教育長の参加について
教育長 説明

石橋委員長 ということでございます。見ていただいてまた私たちに教えていただければと思います。その他、報告事項ございますか。

■ その他(6) 保護司会役員との意見交換会について
梶谷課長 説明

石橋委員長 それは定例会終了後というのは時間的にどうなんでしょうか。次回の定例会の議題そのものを我々は理解しておりませんが、どれくらいの審議事項があるのか、それを受けて1時半からスタートして何時に終わるのかわからない状況でこの方達に待っていただくのはどうなんでしょうか。

掛山局長 18日に6月議会は終了しますので、6月の議案としては例年で考えますとそれ以外に文化振興審議会とか、文化財保護審議委員とかスポーツ振興審議会の委員さんの委嘱関係もご審議いただくことになるかと思うんです。そうすると1時半に開催しても4時近くまでかかるのではないかと思うんです。4時までに終わればそこからスタートして5時頃に終わるかと思うのですが。この前事務局で相談していたのは4時頃から5時頃までという段取りです。

旭教育長 保護司会の方々は守秘義務があって、名前や活動は公表してはいけないし、しないんです。ただ、やっていただいていることは非常に温かく社会を支えていただいているんです。少年院を出た子であるとか、社会更生であるとか、非常に頭の下がる思いです。目指すは一緒ですので、我々教育委員もそれをわかっていただきたいということが一つあります。もう一つは、保護司会の念願であった事務局というか、集まれる場所が今年の4月に市民会館内にできました。やっと拠点ができたんです。だからいつでもできる態勢になりましたので、構えてじっくりしなくてもお互いに情報交換ができる。お互い守秘義務があるということで、子どもの具体的な名前は言わないと思いますけども、例えば山代地区でこのように更生している、なんとか社会に出していく方法がないとか、基本的に保護司会の方々は表面的に社会を明るくする運動をやっておられます。よく見ていかないといけないんです。非行の未然防止であるとか、社会への更生活動などをやっておられます。喫緊でやらないといけないということではないので、6月に会ったときに聞いていただいて、定例会の始まる前にでもいいですし。

掛山局長 始まる前に1時間と決めてしまえばいいですね。

石橋委員長 どちらかと言うとそっちの方がありがたいと思います。

旭教育長 お互いに連携をとって地域を見ていけばいいと私は思っています。

石橋委員長 それでどうでしょうか。1時半から意見交換会、休憩を挟んで2時半から定例会というかたちの方が、お互いに無駄な時間を使わなくて済むのかなという気もしましたので、それをお願いしたいと思います。もう一つこれに関して、私は保護司会ということに関して認識がございません。名前までは別にしましても、一体、加賀市に保護司の方が何人いらっしゃるのか。例えばど

の地区に何人いらっしゃるのかくらいの予備知識はほしいと思います。その辺ちょっとお知らせ願いたいと思いますがいかがでしょうか。

梶谷課長 基本的な情報は集めまして、事前にお示ししたいと思います。

石橋委員長 個人名は特に必要ないと思いますし、なきやいかんと言うつもりはありませんが、山中にいるのかすら知らない状況の中ではお話にならないので、その辺の基礎知識だけいただければと思います。

旭教育長 各地区にしっかりおります。

梶谷課長 今は会長1名、副会長2名、庶務、補佐、会計、大聖寺、片山津、山代、山中に分区長という方がおられます。研修部長、広報部長、地域活動部長、協力組織部長、その方の下に2名いらっしゃるということでございます。また詳しいことは資料を作成しましてお配りいたします。

旭教育長 次回までに付けて下さい。

梶谷課長 はい。

石橋委員長 それでは、またそれをするにあたっては後ほど定例会の日程を決めるときにそのことも含めて決めましょう。いろいろなお話をさせていただきたいと思います。その他ございますか。

■ その他(7) 加南地区教育委員会連絡協議会・研究会・懇親会への
出欠確認

梶谷課長 説明

旭教育長 ちなみに来年は加賀市が会場になります。

石橋委員長 4年に1回ですか。

掛山局長 そうです。

石橋委員長 それではその他、報告事項ございますか。なければ先ほどの保護司会役員さんとの意見交換会を含めて次回の教育委員会定例会日程を決定したいと思います。事務局側の候補日はございますか。

掛山局長 6月18日が議会終了日になりますので、その週の20日ないし22日はどうでしょうか。

石橋委員長 各委員さんのご予定はどうでしょうか。皆さんどちらも空いてらっしゃるようですので、ご都合のいい日で結構です。

掛山局長 では20日水曜日をお願いします。

石橋委員長 それでは次回6月20日(水)13:30から保護司会役員さんとの意見交換会、14:30から教育委員会の開催ということでよろしいでしょうか。

全委員 はい。

石橋委員長 では、その旨をお伝えいただいた上で段取りをお願いいたします。それでは本日の案件が終了しましたので、以上をもちまして平成24年第5回教育委員会定例会を終了させていただきます。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。